

海上自衛隊八戸航空基地に所在する機動施設隊は、熊本地震の被災地において任務を開始以来、3日目となりました。作業内容は、瓦礫撤去が終了した県道232号線（熊本市東区沼山津）において、崩れそうな箇所に土嚢を積む作業と、この県道につながる道路の瓦礫撤去を行いました。また、引き続き益城町総合運動公園においてもお風呂用の給水支援を行いました。この小学校には約500名の方が避難されていますが、給水作業をしているときに子供たちが集まってきて、「やっとお風呂に入れる」と飛び跳ねて喜んでいました。被災者の方々の疲れは計り知れないものがありますが、海上自衛隊の活動が被災者の癒しにつながれば幸いです。



給水車から貯水タンクに水を移している様子



貯水タンクが満水になった状態



瓦礫撤去終了後の道路



子どもたちから届いた感謝の言葉